

「日産財団ニュースレター」

日産財団の活動をもっと知っていただきたくて、教育委員会や助成校の皆さまに向け、年3回発信します。ご意見、ご感想をお待ちしています。また、この紙面で紹介して欲しい活動やイベント情報もお待ちしています。是非、先生方のネットワークづくりの場にご活用ください。

今回のテーマは、『理科教育助成』の助成校紹介（第一回目）

『理科教育助成』は、将来の研究者、技術者を育成することを狙い、2004年から日産自動車の主な工場・事業所が所在する地域の小・中学校および理科学研究組織などを対象に助成しています。

その数は8年間で495校になります。

神奈川県、福岡県、栃木県の県市の教育委員会からのご紹介で、現在46校の学校や研究会が、子ども達の科学的思考能力が向上する教育実践を行っています。今回はその中から、2校の活動を紹介します。

横浜市立川井小学校

地域の自然や環境について感じ、考え、行動できる子どもの育成

川井小学校は、よこはま動物園「ズーラシア」に隣接し、周囲は森という恵まれた環境の中にあり、ホタルの水辺の再生や動物園との連携授業、ネイチャーナイトなど、地域のよさを活かした環境教育を行っています。

金環日食観察会の日、雲の切れ間から幻想的な太陽が現われました。「今皆さんが見ている太陽の光は、約8分半前のものなんですよ」という石川英雄校長先生の話に子ども達は感動し、太陽と月が重なる奇跡の瞬間を、皆と共有出来たことを喜びました。



<2年生の感想文より>
「日食が、きれいにななめにとおっていきました」

子ども達はしっかり観察し、自然現象を自分の言葉で表現しています



「あ、見えた見えた！」と子ども達は大喜び

北九州市立門司中学校

ものづくりを通して学ぶことのよさを感じ取るロボット教育の実践

ものづくりを代表する企業や研究機関が多く存在する北九州市において、門司中学校はロボット教育を実施しています。

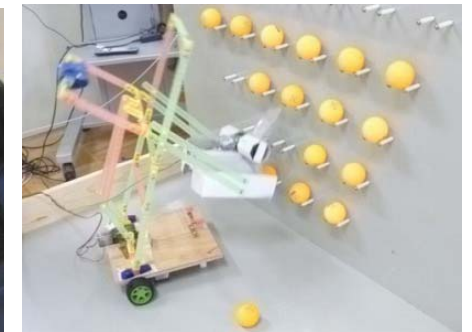
エネルギーの変換方法や電気回路の配線などの技能を習得させた後、グループで目的に応じたロボットを製作させることで、協力して課題を解決する力を育て、学ぶ意欲を高めることを狙います。

実践を行う川原修先生（下左写真の中央）は、北九州市ロボットコンテストの事務局長でもあり、コンテストの企画運営、技術普及にも力をいれています。

活動が広がり、この中から将来の科学技術を担う人材が現われるのが楽しみです。



思い通りに動いたら、改良して、更に素晴らしいモノに



まずは校内競技会で腕試し次は、市そして県大会だ！

次回の助成校紹介では、栃木県の助成校を紹介します。お楽しみに！

問合せ：公益財団法人 日産財団 事務局 沖 玲子
E-mail oki@nissan-zaidan.or.jp
TEL 03-3543-5597 / FAX 03-3543-5598
URL <http://www.nissan-zaidan.or.jp/>